

Panasonic



Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs

NPO/NGOが持続発展的に社会変革に
取り組めるよう、組織基盤の強化に助成します。



2026年募集
応募受付期間

2026年 7月15日(水)~7月31日(金)必着

パナソニック サポートファンド

検索

誰もが自分らしく生き生きとくらす 「サステナブルな共生社会」の実現に向けて

パナソニックグループは創業以来、「社会生活の向上」と「世界文化の進展」に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて社会課題の解決や、より良いくらしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献すべく取り組んでまいりました。

一方、グローバルでの社会課題をとらえると、国際社会共通の持続可能な開発目標である「SDGs」には、目標1に「貧困の解消」が掲げられています。長期化するウクライナ紛争や中東情勢の緊迫化など国際社会の不安定化に加え、気候変動の影響も受け世界各地で自然災害が頻発するなか、途上国における絶対的貧困のみならず、新興国・先進国においても相対的貧困の深刻化による格差が拡大しており、その解決に向けた世界規模での継続的な取り組みが必要とされています。

本ファンドでは、世界的な社会課題である「貧困の解消」に向けて取り組むNPO/NGOが持続的に社会変革に取り組めるよう、第三者の客観的視点を取り入れながら組織課題を明らかにする組織診断や、具体的な組織課題の解決、組織運営を改善するための組織基盤強化の取り組みに助成します。

社会において重要な役割を果たすNPO/NGOの組織基盤強化の取り組みを通じて、市民活動の持続的発展、社会課題の解決促進と新しい社会価値の創造、社会変革に貢献し、誰もが自分らしく生き生きとくらす「サステナブルな共生社会」の実現を目指してまいります。

組織の自立的成長と自己変革に挑戦するNPO/NGOの皆様からの応募をお待ちしています。

※ 2018年に改定した本プログラムでは、改定以降、のべ139団体の組織基盤強化の取り組みを応援させていただきました。
2027年募集事業からは、新たなスキームで、より社会課題の解決促進に貢献できるようプログラムの改訂を予定しています。
つきましては、現行プログラムでの新規募集の受付は2026年までとさせていただきます。

2026年4月
パナソニック ホールディングス株式会社


パナソニックグループの企業市民活動

私たちパナソニックグループは、社会課題と直接向き合い、ものづくりやサービスなどの事業活動とともに、従業員一人ひとりが企業市民活動すなわち社会貢献活動に取り組んできました。社会の一員として、人々のくらしを、すこしでも豊かで平和なものにするために。そして、これからの世界を、すこしでも明るく、照らしつづけるために。誰もが自分らしく生き生きとくらす「サステナブルな共生社会」の実現に向けて、「貧困の解消」「環境活動」「人材の育成（学び支援）」という3つの重点テーマを軸にさまざまな「企業市民活動」を行なっています。



2026年 募集事業

ご応募の際は、必ずウェブサイトに掲載している各分野の応募要項をご覧ください。

	海外助成	国内助成	
助成対象団体	新興国・途上国など、支援を必要としている国・地域での貧困の解消、または貧困と関連のある問題の解決に向けて取り組むNGO		
	●民間非営利組織であること ●団体設立から3年以上であること ※この他、対象となる団体の要件は各分野の応募要項をご覧ください。 ※法人格の有無や種類は問いません。一般社団法人の場合は非営利型のみ。 ※財政規模 1,000万円以上の団体を想定していますが、要件ではありません。		
助成対象事業	第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の取り組みを助成対象とし、次の2つのコースを設けて応援します。		
	組織診断からはじめるコース 1年目の組織診断によって組織の優先課題と解決の方向性を明らかにし、組織基盤強化計画の立案および強化に取り組み、2年目からは組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース	組織基盤強化コース 既に組織の優先課題と解決の方向性が明らかとなっており、立案した組織基盤強化計画に基づいて、1年目から具体的な組織課題の解決や組織運営の改善に取り組むコース	
	組織診断&強化(1年) 組織診断と組織基盤強化計画の立案・実施	組織基盤強化(1年) 組織課題の解決や組織運営を改善するための取り組み	組織基盤強化(1年) さらに組織課題の解決や組織運営を改善するための取り組み
	組織診断からはじめるコース	新規1年目	継続2年目
	組織基盤強化コース	新規1年目	継続2年目
	※第三者とは、応募団体が選定するNPO/NGO支援機関やNPO/NGOの組織運営実践者、またはNPO/NGO経営支援の専門家等を指します。 ※継続助成は選考により決定し、2026年募集の支援期間は最長2年(新規1年+継続1年)です。		
助成金額	「組織診断からはじめるコース」：1団体への上限150万円(1年目) 「組織基盤強化コース」：1団体への上限200万円(毎年) ※助成総額は、「新規助成」「継続助成」あわせて、海外助成1,500万円、国内助成1,500万円。合計3,000万円		
助成事業期間	2027年1月1日(金)～12月31日(金)(1年間)		
応募受付期間	2026年7月15日(水)～2026年7月31日(金)必着		
応募要項及び応募用紙のダウンロードについて	 2026年募集について https://holdings.panasonic.jp/pnsf/npo_summary/2026_recruit.html		
お問い合わせ	海外助成 事務局 パナソニック ホールディングス(株) 企業市民活動担当室 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-1-2 東京ミッドタウン日比谷 14階 E-mail : pnsf.sdgs@kk.jp.panasonic.com 担当 : 細村 ※運営協力 : 市民社会創造ファンド	国内助成 協働事務局 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-3 日本橋 MI ビル1階 E-mail : support-f@civalfund.org TEL : 03-5623-5055 担当 : 駒井・山田	
	パナソニック ホールディングス株式会社 企業市民活動担当室(担当 : 細村・浅川) E-mail : pnsf.sdgs@kk.jp.panasonic.com		

2026年募集事業のスケジュール(予定)

	2026年	2027年	2028年
助成プログラム	4月 告知開始 7月 応募受付 8月 選考 12月 選考結果公表	1月 組織診断からはじめるコース (組織診断&強化) 組織基盤強化コース	12月 完了報告書提出
イベント	5月~6月 サポートファンド個別相談会	1月 オリエンテーション贈呈式&フォーラム	2月~3月 成果報告会

ウェブサイト

「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の募集概要をはじめ、これまでの選考結果や、助成先の事例レポート、イベント等の模様を紹介しています。



- 2026年募集概要
- これまでの助成先一覧
- 選考結果レポート
- 組織基盤強化事例レポート
- 組織基盤強化フォーラム等のイベントレポート

https://holdings.panasonic.jp/npo_summary.html



NPO
サポートファンドの軌跡



組織基盤強化
20年節目評価レポート



組織基盤強化に取り組んで



認定特定非営利活動法人
アジア・コミュニティ・センター 21

アジアの人々や現地団体とのつながりを大切に、20年にわたり活動を続けてきた本団体は、運営体制の移行や支援者の高齢化を見据え、事業承継と組織基盤の強化に取り組みました。

助成1年目には中長期計画を策定し、ビジョン・ミッションを見直し。2年目にはリブランディングを行い、ロゴやウェブサイトを刷新しました。

毎月のオンラインイベント「月カフェ」や「若者チャレンジ100募金」を通じて幅広い世代とつながり、寄付や参加が拡大。

新たな資金調達や人材参画の可能性を広げ、持続可能な組織運営への基盤を築きました。



特定非営利活動法人
こどもソーシャルワークセンター

滋賀県大津市を拠点に、ソーシャルワークの手法を用いて、さまざまな環境により力を発揮しにくい子ども・若者の居場所づくりに取り組んでいます。設立後しばらくは小規模な運営でしたが、2020年度に休眠預金事業を開始して以降、組織が急拡大し、財務や労務の課題が顕在化しました。そこでサポートファンドを活用し、外部コンサルタントによる組織診断を実施。業務整理や電子カルテの導入、職員同士で組織運営を考える場を設けました。さらに寄付者データベースの整備や情報発信の強化に取り組んだ結果、団体の歩みが共有され、寄付も回復。現在は、職員が連携し、安心して長く働き続けられる体制づくりを進めています。